学校番号	309

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	理数数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 数学Ⅲ （数研出版） 高等学校 数学Ｃ （数研出版）						
副教材等	教科書傍用　新課程　クリアー 数学Ⅲ＋Ｃ（数研出版） 新課程　ニューグローバルマーチ 数学Ⅰ＋Ａ＋Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学ⅠＡⅡＢでの学習内容が基礎となり、数学Ⅲの学習と数学ⅠＡⅡＢの内容の定着を行う。ここまで学習した内容を十分に理解しておく必要がある。その知識をもとに教科書の内容を中心に高度な内容や発展的な内容も学習し数学的な力の育成をめざしている。

2　学習の到達目標

関数、平面上の曲線と複素数平面や数学ⅠＡⅡＢについての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	平面上の曲線と複素数平面，微分法についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学的な表現の工夫について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し，演算法則やその図形的な意味を考察する力，図形や図形の構造に着目し，それらの性質を統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	複素数平面	複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形	a：複素数の実数倍が複素数平面上で何を意味するか理解し，3点が 1 直線上にあるように複素数を定めることができる。複素数の極形式について理解し，複素数を極形式で表すことができる。複素数の方程式について，その意味を考えたり計算したりすることで，表す図形を求めることができる。 b：1 つの複素数が複素数平面上で1つの点を表すことを理解し，点を複素数平面上に表すことができる。共役複素数や $-z$ などを極形式でどのように表すか，その定義から考察できる。1の n 乗根の求め方をもとに，一般の複素数の n 乗根を求めることができる。 c：複素数平面の定義から，複素数の和，差や実数倍などが複素数平面上で何を意味するか自ら考察しようとする。複素数の積の図形的な意味から，ド・モアブルの定理を自ら見出したり証明したりしようとする。図形の問題を，複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	提出ノート

	式と曲線	放物線 楕円 双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質	a：放物線の標準形について理解し，放物線の概形をかいたり焦点や準線を求めたりできる。また，条件から放物線の方程式を求めることができる。楕円の標準形について理解し，楕円の概形をかいたり焦点や長軸，短軸の長さを求めたりできる。楕円と双曲線も，放物線と同じように 1 つの定点と 1 つの定直線をもとに考えられることを理解している。 b：条件を満たす点の軌跡として，楕円の方程式を求めることができる。曲線 $F(x-p,\ y-q)=0$ は曲線 $F(x,\ y)=0$ を平行移動したものであることを理解している。2 次曲線と直線の接点を連立方程式の重解と捉え，接線の方程式を求めることができる。 c：双曲線の漸近線について，曲線が限りなく近づくことを確かめようとする。複雑な方程式で表される 2 次曲線について，平行移動の考えを利用して調べようとする。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	提出ノート

	式と曲線	曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 コンピュータの利用	a：媒介変数表示された曲線の方程式を求めることができる。簡単な曲線を極方程式で表すことができる。媒介変数表示された曲線や極方程式で表される曲線を，コンピュータを用いて描くことができる。 b：条件から点の座標を 1 つの文字で表し，それを曲線の媒介変数表示と捉えることで，その点が描く曲線を求めることができる。離心率 e についての条件から 2 次曲線の極方程式を求め，直交座標の方程式に変換するなどして考察できる。 c：双曲線の媒介変数表示について，具体的に確かめようとする。サイクロイドについて，具体的な点をプロットするなどして，媒介変数表示や曲線の概形を考察しようとする。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	提出ノート

2学期	数学ⅠAⅡ	数と式 2次関数のグラフ 2次方程式・不等式 三角比と図形の計量 空間図形の計量 データの整理 データの相関 集合と論証 場合の数と順列 組合せ 確率 条件付き確率 三角形と比 円の性質 約数・倍数 不定方程式 多項式の除法 等式・不等式の証明 複素数と2次方程式 剰余の定理 点、直線、放物線 円 軌跡 領域 三角関数と加法定理 三角関数の応用 指数関数・対数関数 導関数、接線、関数の増減 導関数の応用 不定積分と定積分 面積の応用	a：記述式の答案を論理的かつ丁寧に書くことができる。入試問題を通じて得た知識や技能が定着し、理解が深まっている。 b：授業で取り組んだ入試問題の類題に対しても、柔軟に対応できるような思考力と判断力を身につけている。 c：提出物を期限までに提出し、取り組んだ内容に努力の姿勢が見られる。	定期考査 提出ノート	定期考査 提出ノート	提出ノート

3学期	数学BC	等差数列・等比数列 いろいろな数列 漸化式 数学的帰納法 確率分布 統計的な推測 ベクトルの基本 ベクトルと平面図形 ベクトルと空間図形 空間のベクトル方程式 2次曲線 曲線の媒介変数表示 複素数と極形式 複素数と図形 複素数平面上の軌跡と領域	a：記述式の答案を論理的かつ丁寧に書くことができる。入試問題を通じて得た知識や技能が定着し、理解が深まっている。 b：授業で取り組んだ入試問題の類題に対しても、柔軟に対応できるような思考力と判断力を身につけている。 c：提出物を期限までに提出し、取り組んだ内容に努力の姿勢が見られる。	提出ノート	提出ノート	提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度